

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

日東電工株式会社

2024年1月26日



- 1** 2024年3月期 第3四半期実績 P3
- 2** 2024年3月期 通期見通し P12
- 3** 補足資料 P16

**1**

2024年3月期 第3四半期実績

決算概要

2023年度Q3(4-12月) 業績

売上収益

6,939億円

営業利益

1,123億円

前年同期比

売上収益

-451億円
(6.1%減)

営業利益

-254億円
(18.4%減)

- オプトロニクス、ヒューマンライフは**減収減益**
- インダストリアルテープは**増収増益**
- 円安による営業利益への影響は**+145億円**

2023年度Q3(4-12月)概況

5

(億円)

	2022年度Q3 (4-12月)	2023年度Q3 (4-12月)	前年同期比	
			金額	増減%
売上収益	7,390	6,939	-451	-6.1%
営業利益	1,377	1,123	-254	-18.4%
営業利益率	18.6%	16.2%	-2.4%	-
税引前利益	1,374	1,120	-254	-18.5%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	958	816	-142	-14.8%
米ドルレート(円)	135.3	143.0	+7.7	+5.7%

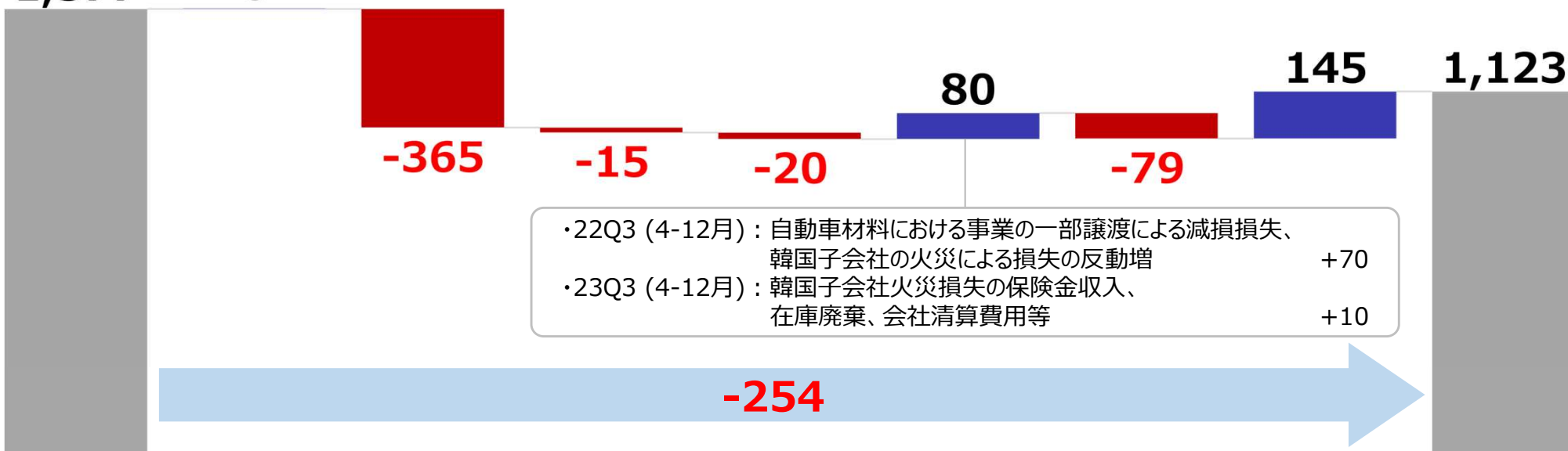
2023年度Q3 (4-12月) 前年同期比 利益増減分析

(億円)

※当分析は推計値

1,377

0



・22Q3 (4-12月) : 自動車材料における事業の一部譲渡による減損損失、韓国子会社の火災による損失の反動増 +70
 ・23Q3 (4-12月) : 韓国子会社火災損失の保険金収入、在庫廃棄、会社清算費用等 +10

2022年度Q3 (4-12月)

販売価格
購入価格
合理化

販売数量差異

固定費

ロイヤリティ

特殊要因

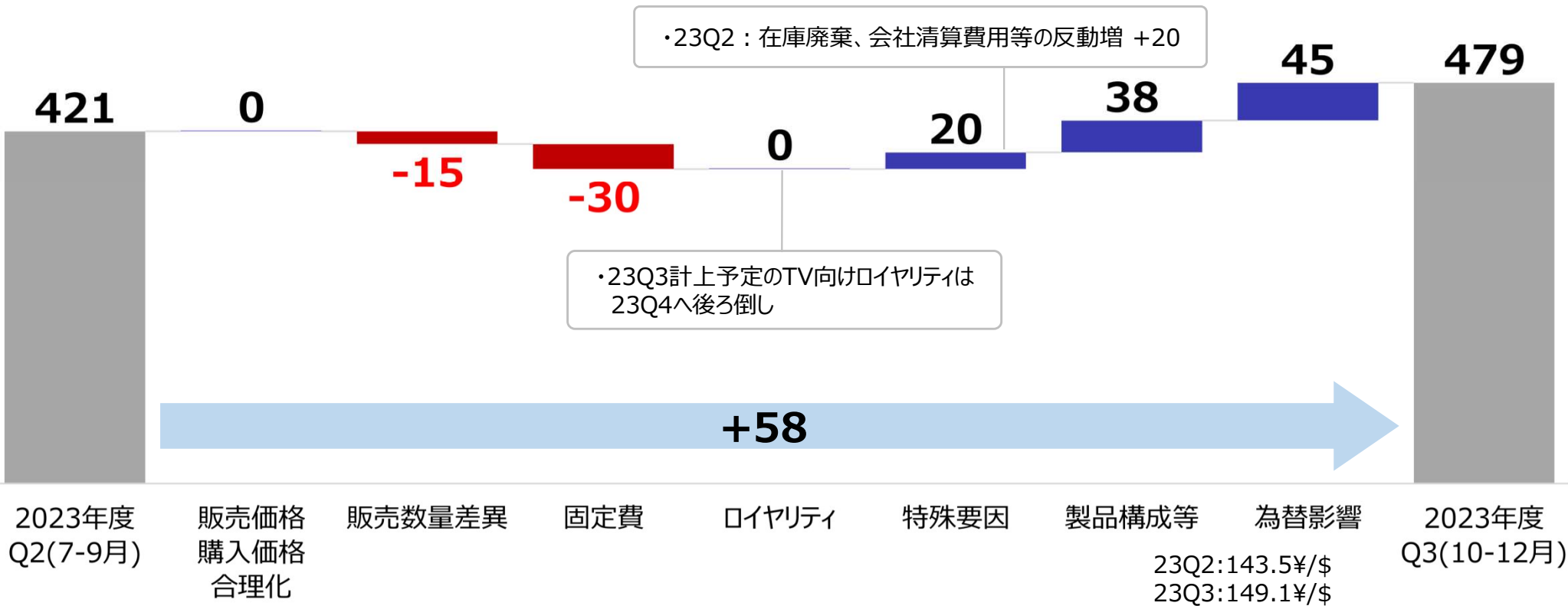
製品構成等

為替影響
22Q3:135.3¥/\$
23Q3:143.0¥/\$

2023年度Q3 (4-12月)

2023年度Q3（10-12月）前期比 利益増減分析

(億円) ※当分析は推計値



2023年度Q3（4-12月）セグメント別業績

8

(億円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2022年度Q3 (4-12月)	2023年度Q3 (4-12月)	前年同期比	
			金額	増減%
インダストリアルテープ*	2,648	2,656	+8	+0.3%
	243	303	+61	+24.9%
オプトロニクス*	3,940	3,580	-360	-9.1%
	1,128	996	-132	-11.7%
ヒューマンライフ*	993	932	-60	-6.1%
	63	-64	-127	-
その他*	0	0	0	+3.7%
	-28	-43	-15	-
調整額*	-191	-229	-38	-
	-28	-69	-41	-
合計	7,390	6,939	-451	-6.1%
	1,377	1,123	-254	-18.4%

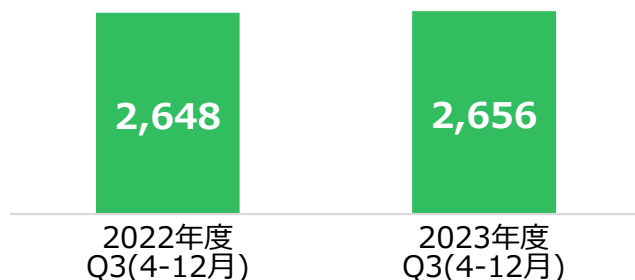
*（注） 2023年度より、報告セグメントの分類に一部変更があります。変更点は以下のとおりです。

1. 「その他」のプラスチック光ファイバー・ケーブル事業を「オプトロニクス」へ移管します。
2. 「ヒューマンライフ」の一部関連事業を「インダストリアルテープ」へ移管します。
3. 「調整額」に含まれる一部事業を「その他」へ移管します。 2022年度の実績数値は、当該変更を反映した数値で記載しております。

セグメント別業績 インダストリアルテープ

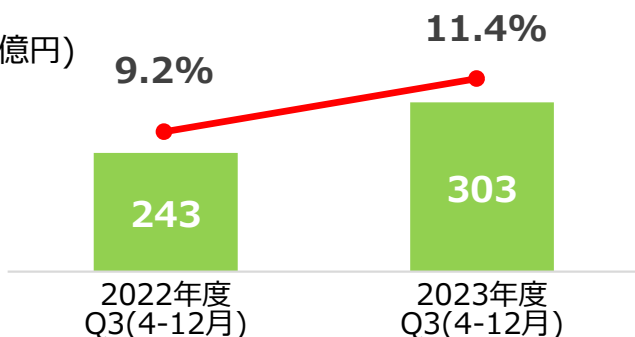
売上収益

(億円)



営業利益/営業利益率

(億円)



売上収益	2,656億円	(前年同期比0.3%増)
営業利益	303億円	(前年同期比24.9%増)

■エレキ

- ・ハイエンドスマートフォン向け組み立て用部材は新製品投入で需要が増加
- ・セラミックコンデンサー向け工程用材料は、前年Q4期を底に回復基調にあるものの、対前年割れ

■半導プロセス材

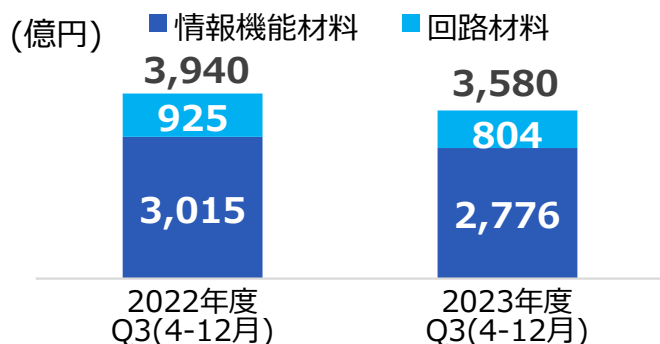
- ・半導体メモリ向けの需要は回復基調
- ・貼合装置の需要が対前年割れ

■その他

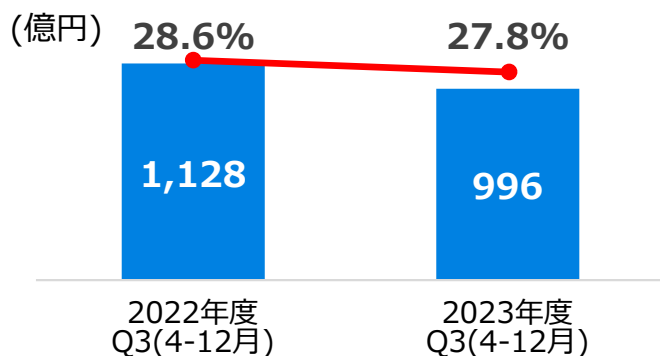
- ・自動車材料は半導体不足の影響が緩和し、国内や欧州を中心に自動車生産が回復し需要が増加

セグメント別業績 オプトロニクス

売上収益



営業利益/営業利益率



売上収益	3,580億円	(前年同期比9.1%減)
営業利益	996億円	(前年同期比11.7%減)

■ 情報機能材料

- ハイエンドノートパソコン、タブレット端末向けの光学フィルムやITOフィルムは巣籠り需要が一巡し、需要が減少
- ハイエンドスマートフォン向けでは、光学フィルムに加えて透明粘着シートや工程保護フィルムの需要が増加
- VR向け光学フィルムは新たな生産ラインで量産を開始

※VR：バーチャルリアリティ

■ 回路材料

- ハイエンドスマートフォン向け高精度基板は搭載機種が増加
- CISはデータセンター用の高容量HDD向けの需要が減少

※CIS：Circuit Integrated Suspension

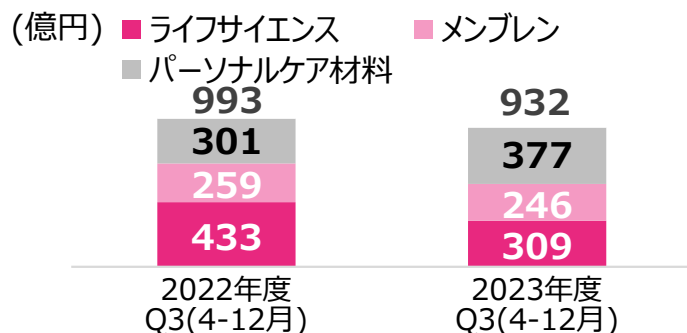
※HDD：ハードディスクドライブ

Nitto

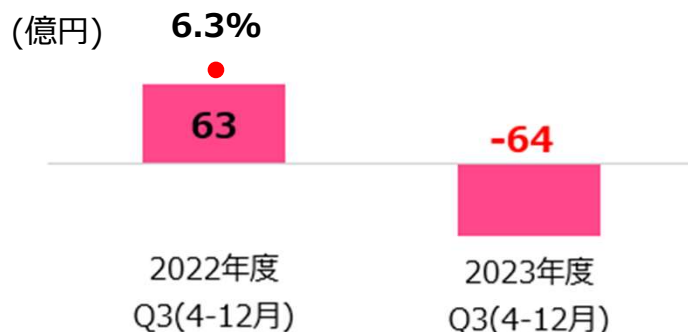
Innovation for Customers

セグメント別業績 ヒューマンライフ

売上収益



営業利益/営業利益率



売上収益	932億円	(前年同期比6.1%減)
営業利益	-64億円	(前年同期比-)

■ ライフサイエンス

- COVID-19ワクチン向け核酸アジュバントは、当年度において売上収益を計上していない状況
- 米国マサチューセッツ州の核酸受託製造の新工場が完成し、試作を開始

■ メンブレン

- 産業用途向け高分子分離膜は、中国を中心に需要が減少

■ パーソナルケア材料

- 欧州の主要顧客におむつ向け新製品を投入
- 生分解性技術を用いた環境貢献型の新製品を開発中

**2**

2024年3月期 通期見通し

2023年度通期 業績見通し

13

※10月発表値を据置き

(億円)

	2022年度通期 (4-3月)	2023年度通期見通し (4-3月)	前年度比	
			金額	増減%
売上収益	9,290	9,200	-90	-1.0%
営業利益	1,472	1,400	-72	-4.9%
営業利益率	15.8%	15.2%	-0.6%	-
税引前利益	1,468	1,400	-68	-4.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,092	1,000	-92	-8.4%
米ドルレート(円)	134.7	139.7	+5.0	+3.7%

2023年度通期 セグメント別業績見通し

14

※10月発表値を据置き

(億円)

上段：売上収益 下段：営業利益	2022年度通期 (4-3月)	2023年度通期見通し (4-3月)	前年度比	
			金額	増減%
インダストリアルテープ*	3,429	3,475	+46	+1.3%
	272	385	+113	+41.5%
オプトロニクス*	4,824	4,675	-149	-3.1%
	1,274	1,200	-74	-5.8%
ヒューマンライフ*	1,286	1,315	+29	+2.2%
	5	-50	-55	-
その他*	0	0	-0	-
	-39	-55	-16	-
調整額*	-250	-265	-15	-
	-41	-80	-39	-
合計	9,290	9,200	-90	-1.0%
	1,472	1,400	-72	-4.9%

* (注) 2023年度より、報告セグメントの分類に一部変更があります。変更点は以下のとおりです。

1. 「その他」のプラスチック光ファイバー・ケーブル事業を「オプトロニクス」へ移管します。
2. 「ヒューマンライフ」の一部関連事業を「インダストリアルテープ」へ移管します。
3. 「調整額」に含まれる一部事業を「その他」へ移管します。 2022年度の実績数値は、当該変更を反映した数値で記載しております。

＜本資料における注意事項＞

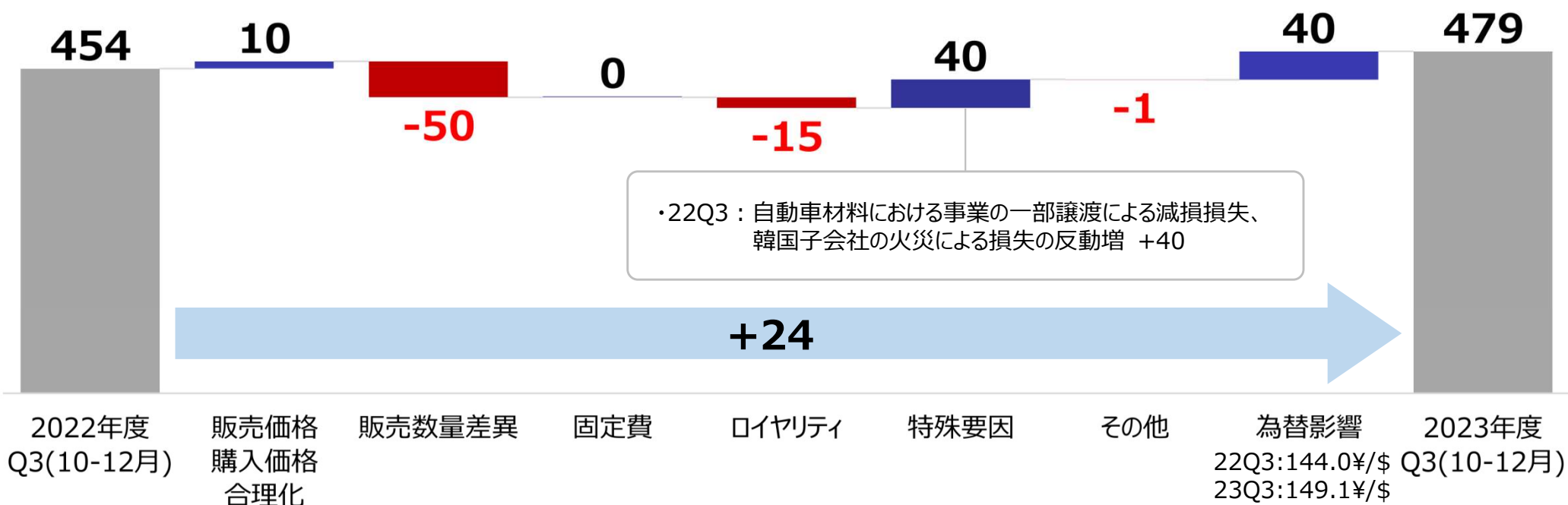
1. 業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。
2. 金額、比率(%)は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

3

補足資料

2023年度 Q3 (10-12月) 前年同期比 利益増減分析

(億円) ※当分析は推計値



設備投資・減価償却費・研究開発費

18

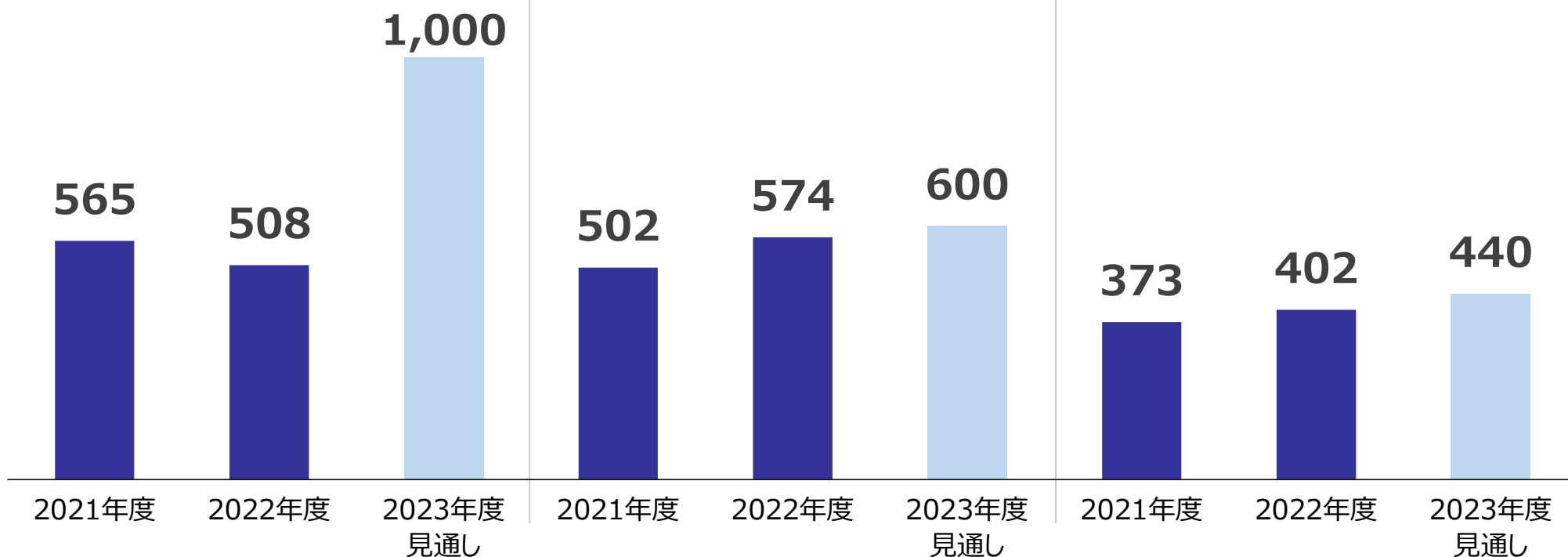
※10月発表値を据置き

(億円)

設備投資額

減価償却費

研究開発費



連結キャッシュ・フロー計算書

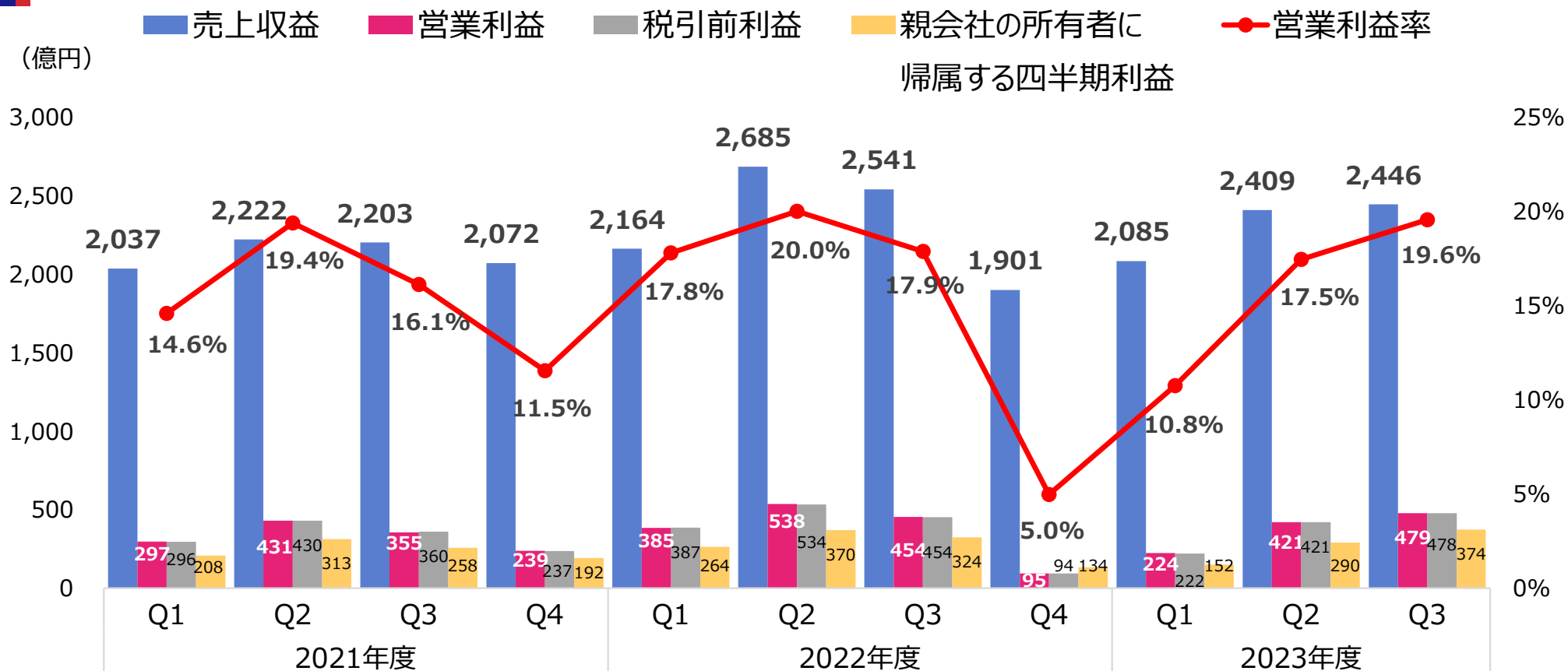
19

2022年度の投資CFの増加はM&A(Mondi社パーソナルケア事業、Bend Labs社)によるもの

(億円)

	2022年度Q3 (4-12月)	2023年度Q3 (4-12月)	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF）	1,332	978	-354
投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF）	-1,425	-508	+917
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	-93	470	+563
財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF）	-384	-729	-345
為替変動による影響等	28	75	+48
現金及び現金同等物の増減	-449	-183	+266
期末の現金及び現金同等物の残高	3,171	3,117	-55

業績推移 (四半期)



株主還元

2023年度の配当金は20円増配の年間260円を予定
2024年2月から5月にかけて300億円の自己株式を取得する予定

自己株式の取得

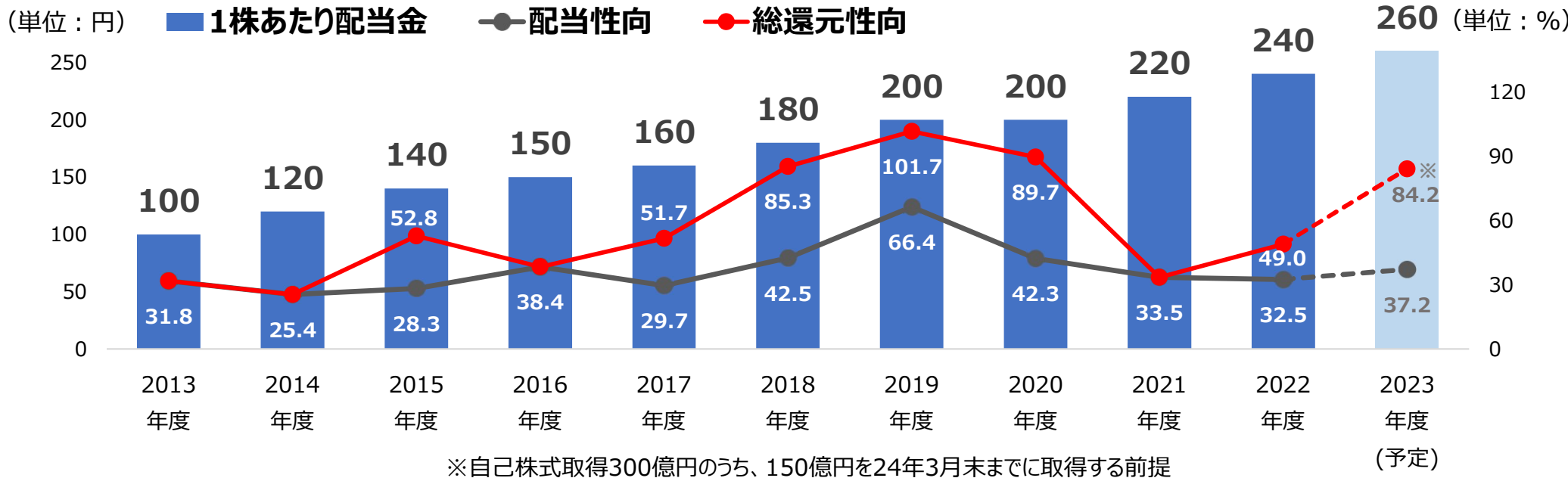
200億円

478億円

500億円

500億円

300億円



事業ポートフォリオの状況

(※調整額を含まない構成比率)
(%は四捨五入で表示)

22

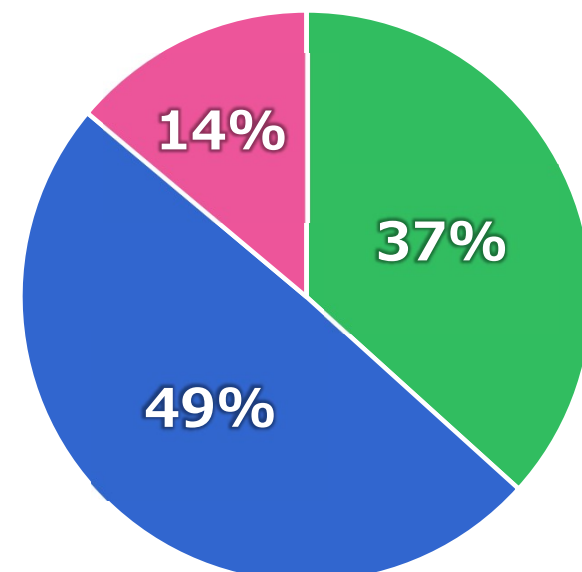
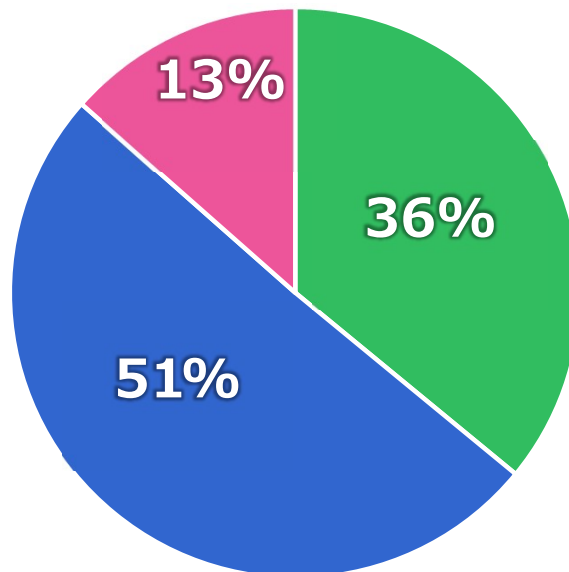
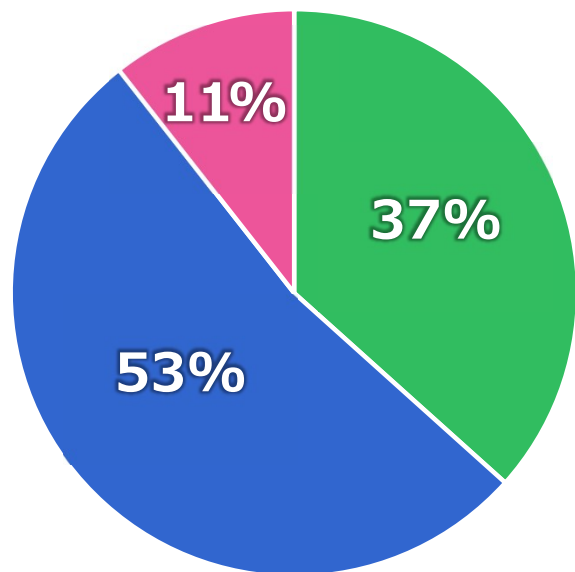
売上収益

■ インダストリアルテープ ■ オプトロニクス ■ ヒューマンライフ

2021年度実績 8,534億円
(111.8¥/\$)

2022年度実績 9,290億円
(134.7¥/\$)

※10月発表値を据置き
2023年度予想 9,200億円
(139.7¥/\$)



事業ポートフォリオの状況

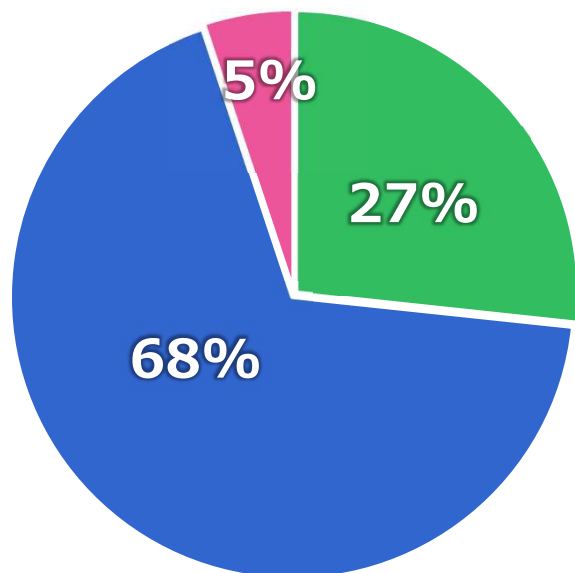
(※調整額及びマイナスセグメントを含まない構成比率)
(%は四捨五入で表示)

23

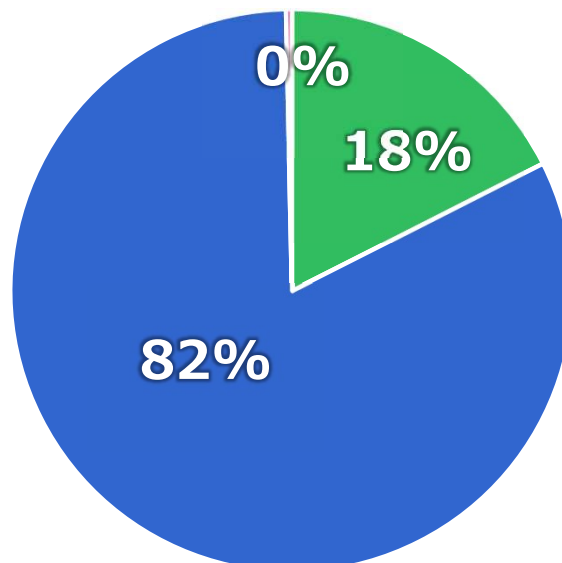
営業利益

■ インダストリアルテープ ■ オプトロニクス ■ ヒューマンライフ

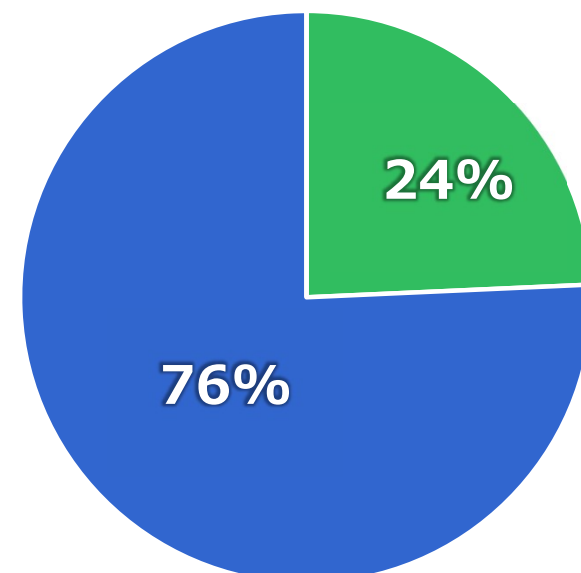
2021年度実績 1,323億円
(111.8¥/\$)



2022年度実績 1,472億円
(134.7¥/\$)



※10月発表値を据置き
2023年度予想 1,400億円
(139.7¥/\$)



開示セグメント区分

2022年4月開示

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	プリント回路
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	メンブレン
その他（新規事業）	

2022年7月開示

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	プリント回路
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	メンブレン
	パーソナルケア 材料
その他（新規事業）	

2023年4月更新

セグメント	
インダストリアル テープ	
オプトロニクス	情報機能材料
	回路材料
ヒューマンライフ	ライフサイエンス
	メンブレン
	パーソナルケア 材料
その他（新規事業）	



Nitto

Innovation for Customers